

(案)

2020年3月2日  
国立情報学研究所  
学術コンテンツ課**2020年度 学術情報流通推進委員会 活動計画**

第1期基本方針のもとに、2020年度は次の活動を実施する。

**(1) 国内ステークホルダーとの協調**

- 学術情報流通推進委員会を開催し、学術情報流通に係る国内外の情報共有を図る。併せて、国内外の学術情報流通に係る動向や各ステークホルダーのポジションペーパーを基にした、オープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を取りまとめる。

**(2) 国際協調に係る戦略の検討と提言**

- 国内外の学術情報流通に係る動向や各ステークホルダーのポジションペーパーを基にした、オープンアクセス・オープンサイエンス推進のための戦略を取りまとめる。
- 国内コンソーシアムとともに、国際的なイニシアティブ (arXiv.org, CLOCKSS, SCOAP<sup>3</sup>) の窓口対応 (参加の取りまとめや会費の支払い等) を行う。
- 国際的なイニシアティブの運営に参画するとともに、次の国際会議等に出席して、情報の収集や発信を行う。
  - ・ Open Access Week Advisory Committee
  - ・ arXiv Member Advisory Board
  - ・ CLOCKSS Board meeting
  - ・ SCOAP<sup>3</sup> Governing council

**(3) アドボカシー活動の実施**

- SPARC Japan セミナーを数回実施する。2019年度同様に企画ワーキングを設置し、年間テーマを策定の上、年間テーマに沿って、各回の企画・実施を行う。
- SPARC Japan の web サイトにて、学術情報流通に係る国際的な動向に関するポータルサイトの充実を図る。
- SPARC Japan セミナーを含めた活動を、ウェブで広報する。また活動記録のために報告書を発行する。

**(4) 学術情報流通の動向に係る調査の提言**

- 2019年に引き続き、日本の論文公表実態調査について、JUSTICE に協力する。
- OA2020に関連する国内の学術情報流通に係る調査を企画・提言する。